

第2回 伊那市スマート農業専門 委員会を開催します

伊那市は、デジタル田園都市国家構想交付金事業「中山間地”伊那谷”に根ざすスマート農業」事業を令和5年度から3年間の期間で取り組んでいます。この事業では、アスパラガス自動収穫機の運用に適した圃場整備、GISを用いた農業水利施設管理のICT化、自動給水栓・自走式草刈機の実証実験を行っています。伊那市におけるスマート農業の取組を一層推進し、今後3年間の事業が適切に実施されるよう、専門的視点から助言することを目的として伊那市農業振興センターの内部組織として伊那市スマート農業専門委員会を設置し、今回第2回委員会を開催します。今回は、令和5年度の各事業の進捗状況、令和6年度の取り組みについて報告いたします。

1 日時

令和6年3月11日(月) 午後3時から午後4時30分(予定)

2 会場

inadani sees(伊那市西箕輪7200-27)

3 内容

報告事項

- ・アスパラガス自動収穫機の開発・圃場整備について
- ・土地改良 GIS システム構築施設調査・構築ソフト整備について
- ・自動給水栓・自走式草刈機の実証実験について
- ・令和6年度の伊那市の取り組みについて

4 その他

委員会後、信州大学農学部 渡邊 修准教授による講演会を行います。

演題「ドローン・衛星画像を活用し現地調査を7割削減(仮称)」

5 添付資料 有 無

本件に関するお問い合わせ先